

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 669 2023年 7月号
 1部60円
友の会会員は会費に含まれています
 発行 東京勤労者医療会代々木病院
 院長 河邊 博正
 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7
 TEL 03(3404)7661
 http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

身近で頼りになる 病院であり続けたい

診察や相談応じます

院長・副院長外来を開始しました



河邊院長による診察



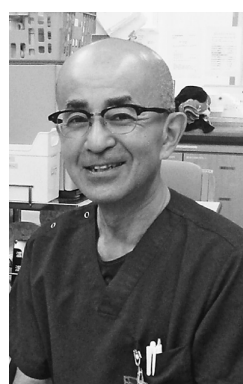
河邊博正院長

松永副院長の呼吸器外来では、喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、肺炎、肺がんなどの呼

代々木病院では、4月から毎週月曜日の午前、午後には河邊博正院長の一般内科外来、そして同じく午後は松永伸一副院長が担当する呼吸器外来の診療が始まりました。オールラウンドに対応

来では慢性疾患から急性の病気まで症例に応じた、オールラウンドに対応します。一般的な健康問題からより複雑な疾患まで、患者さんの健康を最優先に考え、一人ひとりのニーズに合わせた治療を実行していきます。

吸器疾患の診断と治療に取り組んでいきます。また、睡眠時無呼吸症候群などの呼吸器系の様々な問題や疾患に対し診断と治療を提供しています。様々な支援で在宅復帰



松永伸一副院長

予防にも力を入れ、定期的な全身チェックや患者さんの健康維持に貢献していきます。

梅雨明けの猛暑による熱中症に注意

普段から予防・対策を

いつでも・どこでも・誰でも発症

熱中症とは

高温多湿な環境で体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温の調節機能がうまく働かないことにより発症します。

〈症状〉

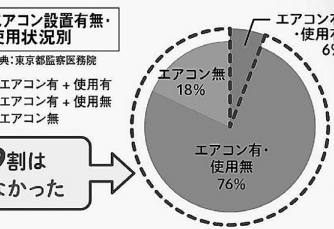
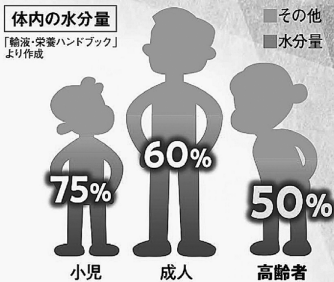
- ・めまいや顔のほてり
- ・筋肉痛や筋肉のけいれん
- ・体のだるさや吐気
- ・汗のかき方が異常（汗が止まらない・または汗

〈熱中症を引き起こす3つの要因〉

- ①環境
 - ・高温多湿
 - ・急に暑くなった日
 - ・風が弱い
 - ・日差しが強い日
 - ・閉め切った屋内
 - ・エアコンのない部屋
- ②からだ
 - ・高齢者や乳幼児・肥満の方
 - ・糖尿病や精神疾患などの持病
 - ・低栄養状態
 - ・下痢やインフルエンザ
- ③周囲
 - ・が全くでない
 - ・体温が高い・皮膚の異常（皮膚が熱い・赤く乾いている）
 - ・まっすぐ歩けない・呼びかけに反応しない
 - ・水分補給ができない

！高齢者は特に注意が必要です

- 1 体内の水分が不足しがちです**
高齢者は若年者よりも体内の水分量が少ない上、体の老廃物を排出する際にたくさんの尿を必要とします。
- 2 暑さに対する感覚機能が低下しています**
加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。
- 3 暑さに対する体の調節機能が低下します**
高齢者は体に熱がたまりやすく、暑い時には若年者よりも循環器系への負担が大きくなります。



●東京都23区における熱中症死亡者の状況(令和3年夏)

約8割は65歳以上の高齢者、屋内での死亡者のうち約9割はエアコンを使用していなかった

千駄の萱

春から季節感が狂う気候続きで体調管理が難しい。今、ようやくインフルエンザが落ち着き、新型コロナウイルスも5類移行で街中のマスク姿も減ってきた。そうはいっても医療機関は変わらずに対応している。院内の風景はそのまま。第9波の入り口かも、などと不穏な報道もされている。日本での感染は、これまで夏場に低めの波、冬に高い波という形で現れてきていた。あり得ない事ではない。インフルエンザとの違いの一つはそこにある。単純に5類移行とするのはやはり拙速にすぎたのだろう。インフルエンザ並の治療方法が実現してからにすべきだったと思う。国が見ているのは国民より経済だ、という証拠を示してくれたようなもの。7万人を越える人が亡くなっている。事実はとても重いはずなのに、相変わらず岸田内閣はどこを見ているのか判らない。しかしながら暗い話題はもうたくさんだ、という方も多い。今年にはスポーツや花火大会などの大規模イベント復活が目白押し。神宮外苑も再開問題が勃発している中ではあるが、楽しみつつ乗り越えて行きたいものである。(ひ)